

SLIDING BOARD

Patent Number: JP8256863

Publication date: 1996-10-08

Inventor(s): TATEISHI KATSUAKI

Applicant(s): KOKUYO CO LTD

Requested Patent: JP8256863

Application Number: JP19950064283 19950323

Priority Number(s):

IPC Classification: A47B97/00; A47B97/04

EC Classification:

Equivalents: JP2755206B2

Abstract

PURPOSE: To provide a sliding board, which can arrange a powder receiving part well without spoiling a door feature.

CONSTITUTION: The lower edge of a board 7 is so formed as to not touch the lower part rail 7. The front edge 7a of the lower part rail 7 is extended ahead of the front lower edge 8b of the board 8 located on the front side to form a powder receiving part 9 so as to prevent solidified ink powder from being dropped out of a white board 8a formed on the front side of the board 8 on a floor.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-256863

(43)公開日 平成8年(1996)10月8日

(51) Int.Cl.⁶
A 4 7 B 97/00
97/04

識別記号 庁内整理番号

厅内整理番号

F I
A 4 7 B 97/00
97/04

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 3 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平7-64283

(22)出願日 平成7年(1995)3月23日

(71)出願人 000001351

コクヨ株式会社

大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

(72)発明者 立石 勝章

兵庫県西宮市葵師町 5-40

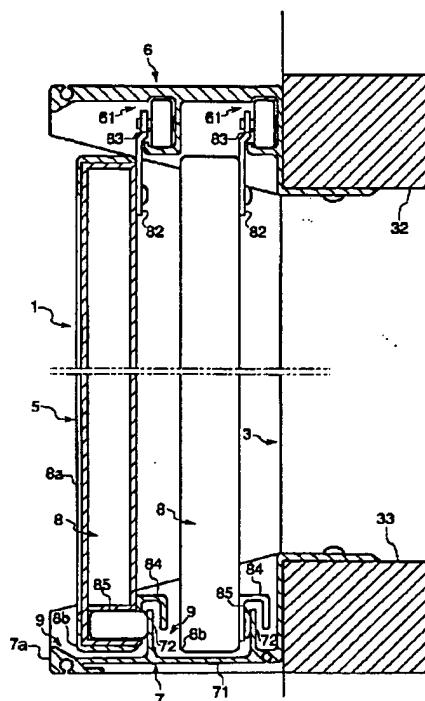
(74)代理人 奈理士 赤澤 一博

(54) 【発明の名称】 スライドボード

(57) 【要約】

【目的】扉としての機能を損なうこと無く良好に粉受部を配設することができるスライドボードを提供する。

【構成】下部レール7にボード8の下端が触れないようになるとともに、下部レール7の前縁7aを、前面側に位置するボード8の前面下端8bよりも前方に延出させて粉受部9を形成し、ボード8の前面に形成されるワイヤトボード8aから固化したインクなどの汚れが床面にこぼれ落ちることを防止する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】上下に対をなして固定されてなる上部レール及び下部レールと、該上部レール及び下部レールと係合して左右に移動可能に支持されるとともに扉を兼ねて前後平行に複数配設されてなるボードとを具備してなるスライドボードであって、前記下部レールの前縁が、前記ボードの前面下端よりも前方に延出して粉受部を形成してなることを特徴とするスライドボード。

【請求項2】前方に開口する収納部の前面に配設されるるものであって、前記上部レール及び下部レールの長手方向の長さを該収納部の幅寸法と略等しい長さに設定するとともに、前記上部レールを該収納部の天井近傍に、前記下部レールを該収納部の底板近傍に、それぞれ固定してなることを特徴とする請求項1記載のスライドボード。

【請求項3】前記ボードの前面の全てもしくは一部が、ホワイトボードもしくは黒板であることを特徴とする請求項1または2記載のスライドボード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、オフィスなどにおいて好適に用いられるスライドボードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のスライドボードとして、上下に対をなして固定されてなる上部レール及び下部レールと、該上部レール及び下部レールと係合して左右に移動可能に支持されてなる扉を兼ねた複数のボードとを具備してなり、保管庫などの一部を形成する前方に開口した収納部の前面に、扉を兼ねて配設されるものが知られている。前記ボードは、上端近傍で既知の懸吊機構を介して前記上部レールに、また下端近傍から後方に延出する突出部を介して前記下部レールに、それぞれ係合して収納部の前面を覆う扉として左右に移動可能に支持されて前後平行に複数配設される。ボードの前面は、ホワイトボードとしてマーカーによる記入を行えるように構成される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、このようなスライドボードでは、粉受部を設けることが難しい、という不具合がある。

【0004】すなわち、前記ボードの前面下端近傍に前方に突出する粉受部を設けることは構造上可能であるが、ボードを左右に移動可能とするために前側に配設されるボードにしか配設できない。そのうえ、前側のボードでもボードの移動と共に粉受部も左右に頻繁に移動するため、もしボード前方に十分な空間がないと前方に突出する粉受部が通りかかる歩行者に衝突する危険が大きくならざるを得ない。また、前記ボードの下方に独立した粉受部を固定することも可能であるが、前記ボードは扉

を兼ねているため前記下部レールと前記ボードの下端は収納部の底板より低い位置に配設されることが通例であり、また収納部の下方にまた別の収納部を設けてあることも多く、前記ボードのさらに下方に独立した粉受部を配設できるだけの余地が存在しないことが多い。このため、従来の構成では粉受部は設けられておらず、ホワイトボード表面から固化したインク等が床面に落下して汚れを招くことがあった。

【0005】本発明は、この課題を良好に解決することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、かかる目的を達成するために、次のような構成を採用したものである。

【0007】すなわち、本発明にかかるスライドボードは、上下に対をなして固定されてなる上部レール及び下部レールと、該上部レール及び下部レールと係合して左右に移動可能に支持されるとともに扉を兼ねて前後平行に複数配設されてなるボードとを具備してなるスライドボードであって、前記下部レールの前縁が、前記ボードの前面下端よりも前方に延出して粉受部を形成してなることを特徴とする。

【0008】具体的な実施の態様としては、前方に開口する収納部の前面に配設されてなるものであって、前記上部レール及び下部レールの長手方向の長さを該収納部の幅寸法と略等しい長さに設定するとともに、前記上部レールを該収納部の天井近傍に、前記下部レールを該収納部の底板近傍に、それぞれ固定してなるものを挙げることができる。

【0009】また、前記ボードの前面の全てもしくは一部を、ホワイトボードもしくは黒板とすることが望ましい。

【0010】

【作用】このような構成のスライドボードであると、前記下部レールの一部によって固定した粉受部を形成することができるため、ボードの扉としての機能を損なうことなく、また前方に突出した粉受部の移動による歩行者への危険を生じることなく、さらにボードの下方に新たな部材を設ける必要なく、粉受部を配設することができる。

【0011】また、前方に開口する収納部の前面に配設するとともに、前記上部レール及び下部レールの長手方向の長さを該収納部の幅寸法と略等しい長さに設定することにより、スライドボード後方の空間を有効に利用することができるばかりでなく、前記ボードを扉として収納部の前面で移動させても、常にその下方に粉受部が存在するよう構成することができる。

【0012】さらに、前記ボードの前面の全てもしくは一部をホワイトボードもしくは黒板とすることにより、扉をホワイトボードもしくは黒板として活用できるばか

りでなく、これらのホワイトボードもしくは黒板から落する汚れを前記粉受部により適切に収集して床面の汚れを防止することができる。

【0013】

【実施例】以下、本発明の一実施例を、図1～図3を参照して説明する。

【0014】この実施例におけるスライドボードは、図1に示すように、保管庫1の前面に扉を兼ねて配設されるものである。

【0015】保管庫1は、上段、中段、下段の上下三段に分割された収納部2、3、4を具備してなるものである。上段の収納部2と、下段の収納部4の前面には、それぞれ扉11、12が開閉可能に蝶持されて、書類などを好適に収納可能に構成されている。

【0016】中段の収納部3は、前面に開口してなるものであって、図2に示すように、内部空間を棚31によって分割して大量の書類等を分類して収納できるように構成される。

【0017】収納部3の前面には、スライドボード5が扉を兼ねて配設される。スライドボード5は、上下に対をなして固定されてなる上部レール6及び下部レール7と、上部レール6及び下部レール7に係合して左右に移動可能に支持されてなるボード8とを具備してなるものであって、図3に示すように、上部レール6、下部レール7とにより上下両端で支持されるボード8を前後平行2列に配設して、2枚のボード8が中段の収納部3の前面で左右に開閉する扉を構成するようしている。

【0018】上部レール6は、収納部3の幅寸法Aと略等しい長さのもので、収納部3の天井32近傍の前縁に固定されて、横断面L字形をなす2本のレール本体61を一体に垂下させたものである。

【0019】2枚のボード8は、それぞれ前面をホワイトボード8aとして構成されるものである。左右両端には、それぞれ樹脂製の引き手81を設けている。引き手81は、縦方向に延出する溝を具備してなり、この溝に指を進入させることで引き手としての機能を具備させている。ボード8の背面上端には、プラケット82を介して懸吊車輪83を設けており、この懸吊車輪83を上部レール6の対応するレール本体61に転動可能に支持せている。

【0020】このような構成のスライドボード5において、本実施例では、ボード8の下端近傍と係合する下部レール7のレール基部71の前縁7aを、ボード8の前面下端8bよりも前方に延出させて粉受部9を形成する。

【0021】下部レール7は、収納部3の幅寸法Aと略等しい長さに設定するもので、収納部3の底板33近傍の前縁に固定して前方に水平に延出するレール基部71から、上方に2列の起立片72を突設する。それとともに、ボード8の背面下端には、断面下向きコ字形のガイ

ド板84と補助車輪85を設け、ガイド板84に下部レール7の対応する起立片72を進入させて前後の遊動を防止すると同時に、補助車輪85をこの起立片72に転動可能に添設することにより、ボード8の下端が下部レール7のレール基部71に触れないようにして、レール基部71に落下する固化したインクなどの汚れがボード8の下端に付着しないよう構成する。レール基部71の前縁7aは、前面側に位置するボード8の前面下端8bよりも前方に延出させ、粉受部9を形成してボード8の前面のホワイトボード8aから落下する汚れが床面にこぼれ落ちることを防止する。

【0022】このような構成のスライドボード5であると、固定された下部レール7のレール基部71全体が粉受部9を形成するので、ボード8の扉としての機能を損なうことなく、また粉受部9の移動による歩行者への危険を生じることなく、さらにボード8の下方に新たな部材を設ける必要なく、粉受部9を配設することが可能である。また、収納部3の前面に配設しているので、スライドボード5後方の空間を有効に利用可能であるとともに、上部レール6及び下部レール7の長さを収納部3の幅寸法Aと略等しい長さに設定しているので、ボード8を収納部3の前面で移動させても常にその下方に粉受部9が存在するよう構成することが可能である。さらに、ボード8の前面にホワイトボード8aを形成しているので、収納部3の扉を活用できるばかりでなく、ホワイトボード8aから落下する汚れを粉受部9により適切に収集して床面の汚れを防止することが可能である。

【0023】なお、本発明における構成は、以上説明したものに限定されないのは勿論である。例えば、ボードの前面を黒板やその他のものとして構成することも可能である。また、スライドボードの後方を書棚などとすることも可能である。さらに、ボードの数に制限はない。また、下部レールは、必ずしもボードの下端に設けた補助車輪を転接支持するものに限定されるものではなく、例えば、かかる補助車輪を有しないボードの前後方向の揺れを規制するだけの簡単なものであってもよい。その他、各部材の素材や形状など、本発明を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

【0024】

【発明の効果】本発明にかかるスライドボードは、以上詳述したように、ボードの扉としての機能を損なうことなく、また前方に突出した粉受部の移動による歩行者への危険を生じることなく、さらにボードの下方に新たな部材を設ける必要なく、粉受部を配設することが可能となる。また、スライドボード後方の空間を収納部などとして有効に利用することができるばかりでなく、前記ボードを扉として移動させても、常にその下方に粉受部が存在するよう構成することが可能となる。さらに、前記ボードの前面の全てもしくは一部をホワイトボードもしくは黒板として、扉をホワイトボードもしくは黒板とし

5

て活用できるばかりでなく、これらのホワイトボードもしくは黒板から落下する汚れを前記粉受部により適切に収集して床面の汚れを防止することができる。

【0025】以上述べたように、本発明は、スライドボードの扉としての機能を損なうことなく良好に粉受部を配設することが可能となる、という格別な効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す正面図

【図2】同実施例のスライドボードを示す正面図。

10

【図3】同実施例のスライドボードを示す側断面図。

【符号の説明】

A…幅寸法

3…収納部（中段の収納部）

5…スライドボード

6…上部レール

7…下部レール

7a…前縁

8…ボード

8a…ホワイトボード

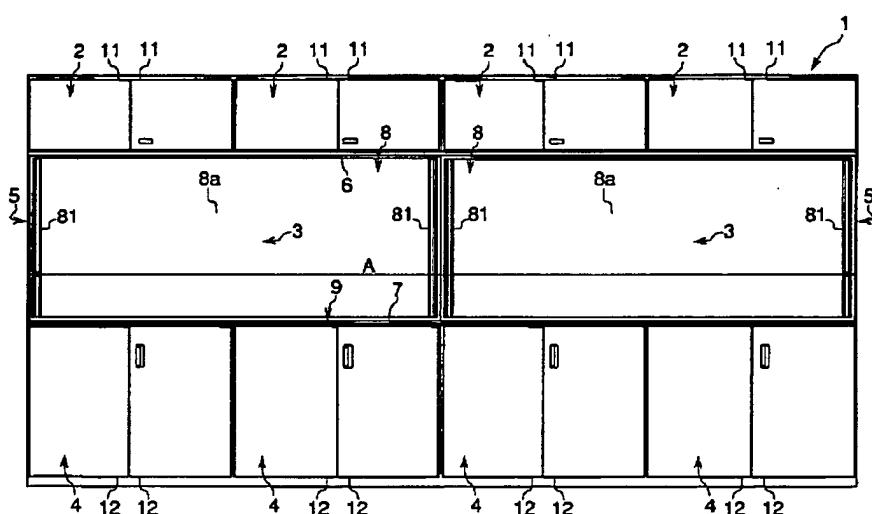
8b…前面下端

9…粉受部

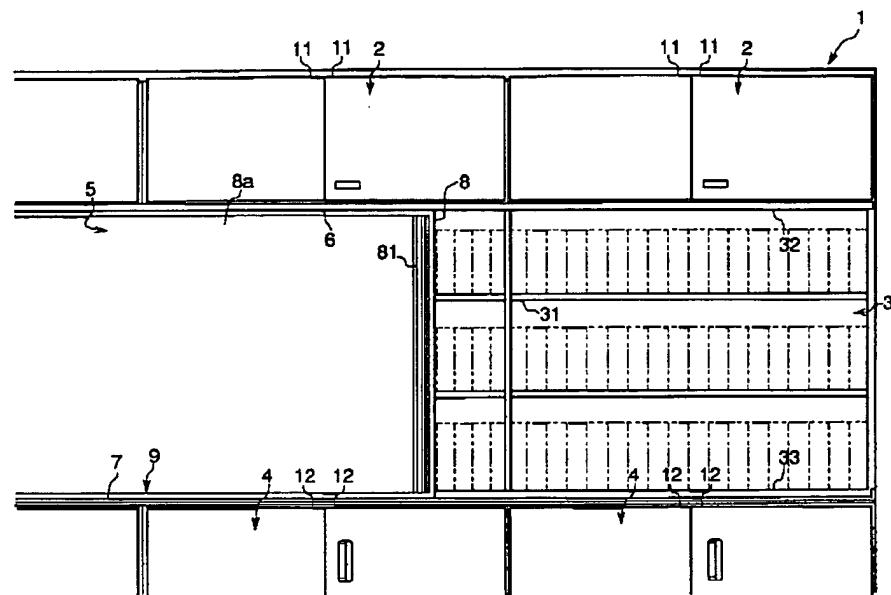
32…天井

33…底板

【図1】



【図2】



【図3】

